



臨床研究に関する情報の公開

作成日:2023/12/02

研究課題名	消化器癌既存検体を用いた発癌・進行メカニズムの解析
研究の対象	1985年4月から2023年10月31日までに、当院にて膵癌、胆道癌、大腸癌およびその癌になる前段階の腫瘍性病変(腺腫、異形成など)癌になるリスクの高い疾患(炎症性腸疾患、家族性大腸腺腫症、慢性膵炎、原発性硬化性胆管炎、膵胆管合流異常症など)で、診断、治療中、治療後に手術、内視鏡を用いた治療(ポリープ切除、内視鏡的粘膜下層剥離術、内視鏡的粘膜切除術)組織の検査を受けられた患者さん。
研究目的・方法	膵癌、胆道癌、大腸癌などの消化器癌について現在に至るまで遺伝子の解析や癌細胞を用いた研究が行われているものの、ヒトの癌が発生・進行するメカニズムについては明らかになっていないことも多く、未だに予後が悪いです。すでに検査や治療などで採取された残りの検体(既存検体)のRNAや蛋白を解析して、癌の発生・進行のメカニズムについて検討します。難治消化器癌の新たな診断や治療法、予防法の開発に繋げていくことにより、予後改善が強く求められている難治消化器悪性腫瘍に対する治療成績の向上に資することが期待されます。 研究期間:許可日~2030年3月31日
研究に用いる試料・情報の種類	外科的手術、内視鏡を用いた治療、組織の検査で得られ、病理部で保管管理されている標本を利用させていただきます。 年齢、性別、診断名、予後、癌のステージ、局在、病理診断、手術日、検体採取日、基礎疾患の情報、等。
外部への試料・情報の提供	研究対象者の個人情報とは無関係の研究番号を付して匿名化して提供。
研究組織	京都大学医学部附属病院 消化器内科 准教授 福田晃久 公益財団法人医学研究所 北野病院 消化器内科部長 八隅秀二郎 近畿大学 医学部・大学院 医学研究科 消化器内科 特命准教授 三長孝輔 京都桂病院 消化器内科 医長 荒木理 兵庫県立尼崎総合医療センター 消化器内科 医長 山内雄揮
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 〒530-8480 大阪市北区扇町 2-4-20 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 電話:06-6312-1221、FAX:06-6312-8867 研究責任者:消化器内科 主任部長 八隅 秀二郎 研究分担者:消化器内科 副部長 栗山 勝利 研究代表者:京都大学医学部附属病院 消化器内科 准教授 福田晃久